

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	46人

1. 使用状況

寄贈物品名	サッカーユニフォーム
使用学年及び人数	高等部1～3年生 スポーツ部員30人
使用頻度	月1回～2回程度
使用状況	主に、スポーツ部によるサッカーの対外試合で使用。 実践練習としてチーム内での試合形式時にも使用。
物品の使用による変化や効果	新しいユニフォームを身に付けることに生徒がとても喜びを感じ、意欲が高まった。今まで試合開始直後は気弱になり消極的なプレーになることが多かったが、新しいユニフォームを着ると「気合いが入る。」「モチベーションがあがる。」と生徒達から声があがっており、最初から積極的にプレーし、最後まで声を掛け合い、全力でプレーする等、とても良い雰囲気の中でチーム一丸となって試合を行えている。 また、「着心地がとても良い。」と感想をもつ生徒が多く、着心地の良さという点も最後まで全力を出してプレーできることにつながっていると考えられる。意欲の向上と共にプレーや協調性等も向上し、効果が絶大であると感じている。
今後の活用の見通しや課題	新型コロナウイルス感染症の状況次第ではあるが、全員でユニフォームを着用して対外試合を行える機会を増やし、生徒の心技体の豊かな向上をねらっていきたい。
その他希望や所感など	コロナ禍のため、多くの対外試合を組むことができず、着用の機会が限られており、残念であった。

2. 活用の様子

【生徒の感想 抜粋】

- ・チーム一丸となって試合に臨めました。 ・チームのつながりが強くなった気がします。
- ・勝てる感じのユニフォームで、デザインがとてもカッコ良く映えて、迫力が増したと思いました。
- ・ユニフォームを着てるときに、「勝つぞ！」と気持ちが込み上げてきました。
- ・チームで並んだ時も迫力があり、とてもかっこよかったです。
- ・ユニフォームを着ると気合いが入るので、いつもよりやる気が出て、楽しく試合ができました。
- ・新しいユニフォームを着て、サッカーをすると楽しい気持ちになります。
- ・かっこ良くて、自分のモチベーションもあがるので、とてもうれしかったです。
- ・着てみて、生地が薄くて、風が入りやすくて着心地がとても良い。
- ・これからの目標は、ユニフォームをもらったので、感謝して部活を頑張りたいです。
- ・カッコいいです。 今よりもっといいプレーができるように頑張っていきたいです。
- ・やる気も出て、ディフェンスの4人で全力で相手のボールに抵抗することができました。

